

2023. 5. 15

報道関係者 各位

< 配信枚数2枚 >

【立命館土曜講座のご案内】

6月テーマ「今、改めて難民問題を考える」

開催日時：6月17日(土)・24日(土) 10:00~11:30

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

6月の立命館土曜講座は、立命館大学国際地域研究所の企画として「今、改めて難民問題を考える」をテーマに、オンライン(Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 6月テーマ「今、改めて難民問題を考える」

(1)第3383回「日本における移民・難民受け入れの政治と人々の賛否態度」

日時：6月17日(土) 10:00~11:30

講師：立命館大学法学部 教授 村上 剛

(2)第3384回「ウクライナ危機と難民保護—国際協力の展望と課題」

日時：6月24日(土) 10:00~11:30

講師：上智大学法学部 教授 岡部 みどり

開催方法：オンライン(Zoom ウェビナー)

内 容：別紙参照

聴 講 料：無料

定 員：400人 ※実施前日12時までには要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法：立命館土曜講座のWEBサイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumei.ac.jp/doyo/>

主 催：立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他：文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先：京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当:武田・堀

TEL.075-465-8224

別紙

■立命館土曜講座 6月テーマ「今、改めて難民問題を考える」

(1)第 3383 回「日本における移民・難民受け入れの政治と人々の賛否態度」

日時：6月17日(土) 10:00～11:30

講師：立命館大学法学部 教授 村上 剛

講師による内容紹介：

現在多くの民主国家において、移民・難民の受け入れと統合が主要な政治問題として議論されている。受け入れの規模や程度は国により、また時期によっても異なるが、日本がこれまで受け入れてきた移民・難民の数は、比較しうる他の民主国家と比べて相対的に少なく、受け入れには消極的な国家として理解されている。これは何故であろうか。また、日本が移民や難民を受け入れることについて、一般の人々(有権者)は、どのように考えているのだろうか。

本講座では、日本の事例を用いて移民・難民受け入れをめぐる政治について概説し、人々の受け入れに対する賛否態度の特徴について、近年の実証研究に基づいた知見を提供する。

(2)第 3384 回「ウクライナ危機と難民保護—国際協力の展望と課題」

日時：6月24日(土) 10:00～11:30

講師：上智大学法学部 教授 岡部 みどり

講師による内容紹介：

ウクライナ危機は第二次大戦後に発展してきた難民保護のための国際協力体制のあり方を問い直す機会となりました。本講義では、難民危機を人道危機と捉えながら、シリアやミャンマーなどでの難民支援が直面する課題と展望を、国際関係を概観することで明らかにしていきます。そして、国家が未曾有の人道危機を救うのはどのようなときなのかを、単なる人種差別の問題を超えた現実政治の観点から考察します。

■立命館土曜講座

1946年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。

<WEB サイト><https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>